



## 大谷選手からのプレゼント

9日(火)の始業式に、大谷選手からのプレゼントを披露しました。私からも目標や夢をもつためのヒントを大谷選手から学ぶという講話の内容でしたので、まさにタイムリーな企画となりました。大谷翔平選手は、全国の子どもたちに野球を楽しんでもらおうと、日本国内の小学校に対して、合わせて6万個のグローブを寄贈しました。大谷選手は自身のInstagramを更新し、この中で日本語と英語で、日本国内にあるおよそ2万校すべての小学校に、3つずつ、合わせておよそ6万個のグローブを寄贈することを明らかにしています。大谷選手は、みずからの写真やグローブの写真とともに以下のような手紙も添えてくれました。



この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味をもってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

このグローブは、右利き用が2つ、左利き用が1つで、始業式の日には熊本市は配付でしたが、朝一で取りに行き、子供たちに披露することができました。そして、帯西スポーツクラブで野球クラブに所属している6年生3人にグローブを使ってキャッチボールをしてもらいました。主将の古賀勇成さんは「大谷選手が使っているグローブと同じようなグローブに触れたので興奮しました」と述べ、岡山拓海さんは「野球をしていてよかったと思ったし、僕も頑張ろうと思いました。」、間地大智さんは「帯西宝物として扱っていきたいと思います。」とそれぞれ感想を述べてくれました。

今後、大谷グローブの活用法は、学校としても考えていきたいと思っています。始業式の日ありがたいプレゼントでした。

なお、グローブの贈呈等の様子は、以下のURLから視聴できます。

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/931333>

※YouTube を視聴するには、別途データ通信料がかかりますのでご了承ください。